

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年八月度 入選句（投稿総数千二百二十七句・一般投句数七百七十三句）

特選

生涯を浮いて沈んで金魚かな

大垣市

永井田鶴子

金魚鉢の金魚が浮いたり沈んだりしながら泳いでいるのは自然の姿です。その浮き沈みを眺めながら人の世の浮き沈みに思いを馳せています。

人の世で浮くは 幸せ・喜び、そして沈むは 不幸せ・悲しみでしょうか。そんな人の世の姿をさりげなく泳ぎながら演出をしている金魚の姿に思いを馳せています。

水あそび犬も初めてびしょぬれに

大垣市

金森和代

子たちの水あそびに巻き込まれてしまった犬の姿を描いています。子たちも日頃友だちのように可愛がっている犬くんを仲間にしてやろうというやさしい心なのでしょうが、犬くんこそ大変な迷惑というところでしょうか。“犬も初めてびしょぬれに”のフレーズには少し可愛そうだったかなという風情です。

あさがほややさしき朝の風と居て

安八郡輪之内町

野村照子

あさがおほ清純な花です。清潔感のある花です。朝の涼しい間だけ咲いて暑くなるころには萎んでしまいます。その朝顔に朝のやさしい風がやってくる来ています。今日も明るくていい日であることを約束するようにです。子たちの元気な笑い声も聞こえてきそうな気がします。

秀逸

青田風ほかに自慢のなき故郷

東京都世田谷区

関戸信治

汗のシャツ脱ぐ子脱がす子子沢山

大垣市

早崎美弥子

涼しかり鯉の触れ合ふ朝の庭

大垣市

坪井克枝

夕刊のコトリと落ちて小暑かな

大垣市

臼井秀子

二人ゐて言葉は要らず遠火花

大垣市

中山あや子

飛石のほどよき歩幅苔の花

大垣市

日比野友子

洗濯物乾く頃なり昼寝覚

愛知県岡崎市

鈴木正紘

夏草の生きる力をもらいけり

滋賀県甲賀市

甲賀忍者

雷光や闇夜に雲の形見ゆ

大垣市

森田孝一

病室の小さき父や蝉時雨

大垣市

片山洋紅

朝顔の花をかぞへて子等のゆく

大垣市

三輪葉加

入選

夏祓留守の家族の名も書いて  
 片陰や水の匂へる城下町  
 向日葵に父の背中を思い出す  
 妹の星がきらめく天の川  
 相席も一会のえにしかき氷  
 柿若葉一つの姓となる二人  
 ひぐらしの声と交はる下駄の音  
 初あらし真直ぐ立って田のまもり  
 転寝を一喝したるはたた神  
 病室の窓に映りし遠花火

不破郡垂井町 児玉昌己  
 愛知県名古屋市 小松とみゑ  
 大垣市 馬場涼  
 大垣市 川瀬喜梅古  
 大垣市 森川きよ子  
 福井県福井市 三ツ山ひろし  
 大垣市 高田雅章  
 大垣市 多賀英華  
 不破郡垂井町 江崎真一  
 大垣市 傍島隆

入選

蠍座の一入赤き夏の夜  
 夕焼の中へ去りゆく縄電車  
 萬緑の波北岳を押し上ぐる  
 鍵かけぬ村の暮らしや蝉時雨  
 青嵐まばゆいほどの光かな  
 鷺草や大空見上げ咲いてをり  
 浴衣着てはしゃいだ子らも夢の中  
 初めての淡い口紅夏椿  
 身の丈の幸せ願うユリの花  
 蓮の花見え隠れして田舟行く

愛知県尾張旭市 古賀勇理央  
 愛知県尾張旭市 古賀勇理央  
 大垣市 大西誠一  
 大垣市 鶴田信子  
 熊本県熊本市 杉本紫子  
 大垣市 川瀬芙沙子  
 大垣市 伊藤厚子  
 大垣市 樋口夏蚕  
 大垣市 大角信子  
 大垣市 伊藤明美

選者吟

雲の峰經由してゐる観覧車

青志